

事務事業評価表（一般事業）

1 事業名	一般介護予防事業	コード	63311
-------	----------	-----	-------

2 担当部課	部等 健康福祉部	課等 介護福祉課	作成者 宮坂 文彦
--------	----------	----------	-----------

3 事業概要	目的体系	基本目標	ともに支えあい、健やかに暮らせるまち		
		政策	福祉の充実	施策	高齢者福祉の推進
		予算科目	一般介護予防事業費	業務委託	一部委託
		実施義務	あり（義務的・標準的事業）	国県補助	あり
		根拠法令	介護保険法		

●事業の内容（D0）

4 事業の概要等		*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）		
事業の概要 （簡潔に）	高齢者が要介護状態に陥ることなく、健康でいきいきとした生活を送ることができるよう、また、すでに要介護状態であっても重度化を防ぐことができるよう、介護予防の普及啓発、リハビリテーション専門職等を活用した、地域における住民主体の介護予防活動の育成・支援を行い、住民自身が自ら介護予防に取り組める地域を目指す。（「通い場の創出」）			
目的	対象者	高齢者		
	意図	介護認定率の低下、介護給付費の上昇率の提言		

5 事業の実施内容		*30年度に、いつ・どこで・誰が・何を・どのように行ったか、という具体的な内容		
<p>○介護予防把握事業…民生児童員による要援護高齢者台帳整備や訪問活動、地域住民や介護支援専門員等からの情報提供を元に、支援を必要とする者を把握し、支援につなげた。</p> <p>○介護予防普及啓発事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教室案内・申込受付業務…介護予防普及啓発事業の対象者リストの作成 対象者：14,205人 希望者：659人 ・通所型介護予防事業（ねこまぬ先のぴんぴんキラリ☆教室） 開催数：29教室 参加実人数：554人 ・介護予防講演会 参加者：164人（平成30年12月22日開催） <p>○地域介護予防活動支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生きがいデイサービス事業 登録者数：631人 実施回数：1,503回 ・ねこまぬ大使活躍の場の創出…養成者が活躍できる場への派遣 延べ派遣人数：17人 ・「ほっとサロン」モデル事業 開催数：10回 延べ参加人数：39人 <p>○地域リハビリテーション活動支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規グループ活動支援事業 グループ数：7グループ 登録人数：59人 				
前年度の課題への対応	・一般介護予防事業の各種事業を通じ、岡谷市の現状や住民主体による地域での介護予防活動について周知した。通所型介護予防事業の委託事業所にも、教室修了後も運動を継続できたり、仲間作りができるような働きかけを行っていただいた。			

6 指標の達成状況		*活動指標：この事業の規模、成果指標：この事業によって得られる住民の満足度			
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)	
① 活動指標（指標名）	新規グループ活動支援事業グループ数			単位	グループ
実績値	0	6	0		
*指標の説明	立ち上げ支援のグループ数				
② 成果指標（指標名）	新規グループ活動支援事業グループ数			単位	グループ
目標値		2	6	6	
実績値		2	7		
達成度	-	100.0%	116.7%		
*指標の説明	継続支援のグループ数				
*目標値の設定方法の説明	導入支援後継続して活動しているグループ数				

7 ア) コストの推移

* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
① 直接事業費	26,816,000	42,039,068	40,039,263	46,520,000
経常経費	26,816,000	42,039,068	40,039,263	46,520,000
臨時的経費				
* 臨時的経費の説明				
区分	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
② 人件費	8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000
正規職員の人数(人)	1.00	1.00	1.00	1.00
③ 合計コスト(①+②)	34,816,000	50,039,068	48,039,263	54,520,000
前年度比		143.7%	96.0%	113.5%
財源	0	0	0	0
一般財源				
内訳	34,816,000	50,039,068	48,039,263	54,520,000
特定財源				
* 特定財源の説明	諏訪広域連合地域支援事業受託収入			
④ 活動一単位あたりコスト	-	8,339,845	-	-
前年度比		-	-	-
⑤ コストに関する補足説明				

イ) 補助金負担金の状況

[単位：件、円、%]

補助金負担金名	28年度	29年度	30年度	31年度(予算)
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
	件数			
	金額			
ア)の①に含まれる負担金等合計金額及び割合	合計金額	0	0	0
	割合	0.00%	0.00%	0.00%

* 行が足りない場合は追加してください

●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価

* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。

妥当性

高い

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。	1	
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。	1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

* 有効性=成果指標(項目7/住民の満足度)は向上しているか。

有効性

高い

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、今年度の事業内容に反映した。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ この事業の利用者が増加した。	1	
成果指標の実績値 前年度比	350.0%	
⑤ 年度当初に期待した成果が得られた。	1	
成果指標の目標値 達成度	116.7%	

●改善の内容 (ACTION)

10 具体的な課題と改善

課題	<p>(少ない費用で効率的に事業を行い、市民サービスを向上させる上で、現在課題になっていること)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民生委員による訪問活動や、地域住民・介護支援専門員等からの情報をもとに実態把握を行っているが、閉じこもりがちで必要なサービスにつながりづらい高齢者の把握ができていない。 ・地域で住民主体による介護予防活動の普及に努めているが、意識付けが不十分である。 	
	改善方法	<p>(上記の課題をふまえて31年度以降に実施する、具体的な改善の内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問活動による実態把握だけでなく、KDB等の統計データや介護保険データを活用し、例えば医療未受診者等に的を絞るなどして実態把握していく。 ・介護予防教室内の周知を強化することと、現在活動しているグループの活動が継続できるよう、交流会等を設け、情報交換や意見交換でき刺激を受けられるような取り組みを行う。
		改善開始時期

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による31年度の優先度 *H29年度施策評価表より転記すること	B
-----------	--------	---	---